

自己を高める

キャリア教育講演会 自己肯定感を高める方法 ～進路・勉強・部活動・友人関係の悩みにどう取り組むか～

生徒が自己を肯定し、積極的に他者と関わり、豊かな人生を送るための生き方について考えることを目的とし、学校法人三橋学園夏見台幼稚園保育園園主の鳥居徹也先生を講師にお迎えし講演会を行いました。受講後、生徒たちは「なりたい職業が見つからず悩んでいたが、『なりたい』ではなく『やりたい』と思えば夢に近づけると思った。」「今まで『～してみたい、なってみたい』と理想を掲げるだけで行動に移さなかったため、行動に移さないと夢に近づくとができなかつた。」「どんなことにも負けない強い自分に成長したい。」「自分を自分で変えることができることを学んだ。」「プラス思考で、毎日笑顔で過ごしていきたい。」と、多くの生徒が前向きな感想を持っていました。



ことぶき勸学院パソコン教室 ～甲州市の高校として役立ちたい～

いつもお世話になっている地域の方々に、塩山高校生として「何かできることはないか？」と考え、本校の設備を利用してできるパソコン教室を高齢者に向けて行いました。いつもは習う立場の生徒が逆の立場で、一生懸命に教えていました。本年度も好評のうちに終わることができました。今後もこの活動を継続し、地域に貢献していきたいと思ひます。



地域活性化プロジェクト 2015 ～地域と共に歩む～

「地域活性化プロジェクト 2015」の成果報告会を9月16日、甲州市役所で行いました。これは総合的な学習の時間に、3年英数コースの生徒が地域の課題を見つけ、解決に向けて取り組んできた活動の報告会です。甲州市の食文化を子どもたちに伝えたり、甲州市で子育てをするメリットについて調査したり、歴史や観光、文化などについて探求活動を行い、甲州市長をはじめとする市役所の方々に成果を聴いていただきました。



社会の中で生きる ～マナー講座から学ぶ～

3年生の巣立ち教室の一環として、プロフェッショナル・キャリアカウンセラーの坪田まり子先生によるマナー講座を開催しました。

受講した生徒たちは、「マナーは自分の意思を伝えるためのものだと思っていたが、自分を受け入れてもらうための行為だということがわかった。」「坪田先生の表情、お辞儀の美しさがとても印象的で、素敵なお方だと思った。やはり、人は第一印象が大切だということを実感できた。」「先生が本気で私たちに伝えようとしていた事に、胸を打たれた。この講演を聴くことができ本当に良かった。」などと感想を述べており、各々が社会人として生きていくための術を習得していました。生徒たちは、大変有意義な時間を過ごすことができたようです。



6月23日・24日に開催された**善嶺祭**。今年には合唱を取り入れました。学園祭を振り返り、生徒会長の大澤さんに聞きました。

生徒会長 大澤 佑衣

— 今年のテーマにした理由は？
 テーマ「FLY OUT」には「飛び出す」「飛び立つ」といった意味があります。この学園祭を通じて、塩山高校生一人ひとりが成長し、ワンランク上の新たなステージへ飛び立っていったら、という思いを込めてこのテーマにしました。

— 学園祭が終わり、振り返ってみてどうですか？
 何より嬉しかったのは、自分たちが企画した開・閉祭式などで皆さんが盛り上がりしてくれたことです。逆に反省点は、準備計画が甘く、前日や当日に焦って作業しなければならなくなってしまったことです。

— 後輩へアドバイスをお願いします。
 行事を成功させるためには、綿密な話し合いと計画と確認が必要です。また多くの関係者のおかげで開祭できることも忘れてください。来年度は、反省を生かして今年度以上の学園祭を作り上げてください。

皆の笑顔で成功を実感

今年の学園祭を振り返ってみて、とても良い学園祭になったと思います。忙しいスケジュールで時間がない中での準備・練習でしたが、どのクラスも素晴らしい発表でした。

今回は学園祭実行委員長という立場で、少し緊張していました。でも生徒会長や友人が声をかけてくれたり、支えてくれたりしたので、無事に役割を果たすことができました。学園祭の二日間、全校生徒が笑顔で楽しんでくれて、本当に良い学園祭にできたと感じました。

高校生活最後の学園祭で実行委員長を務めさせていただき、私にとってとても良い経験となりました。ありがとうございました。



学園祭実行委員長 村田 萌果

自分の将来を考える

インターンシップに参加して

夏季休業を利用して、商業科2年生と希望者が警察署や消防署、保育所、美容室、特別養護老人ホーム、病院、自動車整備工場、商品の販売など、さまざまな場所でインターンシップを体験しました。

参加した生徒は、「働くことの大変さ、楽しさ、協働性を学ぶことができた。職業を考える上でとてもいい経験になった。」「自動車の修理工場でもコミュニケーション能力が必要だと実感した。自分は人と話すことが苦手なので、これから多くの人と関わりを持ち、コミュニケーション能力を養いたいと思った。」「簡単な仕事だと思っていたが、いざ働いてみると何をどうしていいのかわからず、足手まといになってしまった。職業を体験し、自分の駄目な所を知ることができたので有意義な時間を過ごすことができた。」など、自分を見つめる良い機会となったようです。

短期間のインターンシップでしたが、生徒が自分と向き合い、職業への関心も深まったように感じられました。これをきっかけに「やりたいこと」を見つけ、進路実現に繋がることを期待します。

